

報道関係者各位

2017年10月17日

東京都文京区本郷1-26-3 理事長:愛知太郎

社会学者・上野千鶴子氏と、超高齢化社会を生き抜く術を考える：

“妻”の退職金と親の“負”動産の活用、そして“他人”との生活がキーワード！

シンポジウム「団塊ジュニアのおカネと老後」開催

2017年11月5日(日)13:00～16:30 東洋学園大学(文京区本郷)にて

東洋学園大学大学院現代経営研究科は、NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)(理事長:上野千鶴子)と協働で、「団塊ジュニアのおカネと老後」と題したシンポジウムを2017年11月5日(日)に開催いたします。本シンポジウムは、団塊世代と団塊ジュニア世代の世代間の格差、特に、未来が今よりも良くなるという「希望格差」に対する認識ギャップへの問題意識を共有した上で、誰もが弱者になる、超高齢化社会への不安を払拭し、希望をもって生き抜くための具体的な処方箋を見出すことを目的としたものです。

プログラムでは、団塊と団塊ジュニアの両世代を代表する論客として、10月に共著『世代の痛み 団塊ジュニアから団塊への質問状』(中公新書ラクレ/中央公論新社)を刊行した、東京大学名誉教授で社会学者の上野千鶴子氏と作家の雨宮処凜氏をゲストとしてお迎えします。さらにパネルディスカッションでは、具体的に浮上した団塊ジュニア世代の老後不安に対して、生命保険に詳しい研究者である本学大学院の畔上秀人教授や、移住や住み替えのスペシャリストである立命館大学の大垣尚司教授、そして、生活の共同性に関する深い理論的知見と洞察をお持ちである日本大学の久保田裕之准教授といった第一線で活躍される専門家から、具体的な問題解決の方向性を教示いただきます。さらに、本シンポジウム実行委員長である本学現代経営学部の本庄加代子准教授のファシリテーションにより、パネリストと会場来場者との全体討論も加え、超高齢化社会を迎える社会が、希望をもって老後を迎えるための解決策を全員で考えていきます。

シンポジウム「団塊ジュニアのおカネと老後」開催概要

【日時】2017年11月5日(日)13:00～16:30(開場 12:30) 【場所】東洋学園大学1号館2F フェニックスホール

【プログラム】

1. 開会あいさつ:横山和子(東洋学園大学大学院 現代経営研究科 研究科長・教授)
2. 問題提起:上野千鶴子×雨宮処凜 クロストーク『世代の痛み 団塊ジュニアから団塊への質問状』
3. 問題解決の糸口:
 - ① 「“妻の退職金”の活かし方と世代間継承:ファイナンシャルプランニングの視点から」
畔上秀人(東洋学園大学大学院現代経営研究科 教授)
 - ② 「親の家って、“負動産”？」大垣尚司(移住・住み替え機構代表理事、立命館大学 法学部 教授)
 - ③ 「ロスジェネ世代の生き延び方:シェアハウスからグループリビングへ」久保田裕之(日本大学 文理学部 准教授)
4. 全体討論:コーディネーター 本庄加代子 シンポジウム実行委員長
(東洋学園大学 現代経営学部 准教授 日本マーケティング学会 女性マーケティング研究会リーダー)
5. まとめ:宣言 角田朋子(公認会計士、「おひとりさまと女性のためのおカネシリーズ」プロジェクトリーダー)



【参加費】 無料 定員:200名(当日会場に直接お越しください)

【主催】 東洋学園大学大学院 現代経営研究科 / 「おひとりさまと女性のためのおカネ」シンポジウム実行委員会

【共催】 認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク WAN 基金助成事業(理事長:上野千鶴子) 【後援】:中央公論新社

* 本件に関するお問い合わせ先 * 東洋学園大学 広報室 (担当:木村・清水)

電話 03-3811-1783 FAX 03-3811-5176 e-mail:koho@of.tyg.jp http://www.tyg.jp/

【講師プロフィール】

・上野 千鶴子 氏…社会学者。東京大学名誉教授。2011年4月から認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長を務める。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護問題にも関わっている。1994年『近代家族の成立と終焉』(岩波書店)でサントリー学芸賞受賞。2012年度、朝日賞受賞。

・兩宮 処凜 氏…愛国パンクバンドボーカルなどを経て、2000年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』(太田出版/ちくま文庫)でデビュー。以来、いじめやリストカットなど自身も経験した「生きづらさ」についての著作を発表する一方、イラクや北朝鮮への渡航を重ねる。2006年からは格差・貧困問題に取り組み、取材、執筆、運動中。メディアなどでも積極的に発言。3・11以降は脱原発運動にも取り組む。2007年に出版した『生きさせろ! 難民化する若者たち』(太田出版/ちくま文庫)はJCJ賞(日本ジャーナリスト会議賞)を受賞。

・畔上 秀人 氏 (東洋学園大学大学院 現代経営研究科 教授)

東北大学経済学部卒業。東北大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。関東学園大学、京都学園大学教授を経て現職。研究分野は理論モデルを用いた経済成長に関する研究、市区町村単位のデータを用いた金融機関の店舗展開に関する研究、都道府県パネルデータを用いた生命保険市場に関する研究、アンケート調査に基づいた金融サービスの需要動向に関する研究などがある。

・大垣 尚司 氏 (一般社団法人移住・住み替え機構代表理事、立命館大学 法学部 教授)

著書:「49歳からのお金—住宅・保険をキャッシュに換える」(日本経済新聞出版社)

東京大学法学部卒業後、日本興業銀行に入社。米国コロンビア大学法学修士。金融商品開発部、ニューヨーク支店、ストラクチャード・ファイナンス部、興銀第一フィナンシャルテクノロジー取締役、アクサ生命保険専務執行役員、日本住宅ローン代表執行役社長などを経て、現職。博士(法学)。金融・法・税務研究センター長、一般社団法人日本モーゲージバンカー協議会会長。

・久保田 裕之 氏 (日本大学 文理学部 准教授)

著書:「他人と暮らす若者たち」(集英社)

大阪大学大学院人間科学研究科修了。博士(人間科学)。ルームシェア/シェアハウス、コレクティブハウス、グループホームといった家族ではない他人との共同生活実践に関する調査をもとにして、家族を超える親密性/ケア/生活の共同性に関する理論的な研究を行っている。

【コーディネーター・シンポジウム実行委員長】

・本庄 加代子 氏 (東洋学園大学 現代経営学部 准教授)

専門はマーケティング/プロジェクトマネジメント。昨今では女性をテーマにした研究活動を行う。株式会社博報堂コンサルティングを経て、現職。神戸大学大学院経営管理研究科 博士課程在籍、日本マーケティング学会 女性マーケティング研究会リーダー、日経ビジネススクール女性のためのマーケティング講座を長年企画・担当。

【プロジェクトリーダー】

・角田 朋子 氏

公認会計士、「おひとりさまと女性のためのおカネシリーズ」プロジェクトリーダー

【開催場所・アクセス】

東洋学園大学1号館2F フェニックスホール(東京都文京区本郷 1-26-3)

東京メトロ「本郷三丁目」駅 徒歩4分/JR「水道橋」駅(東口) 徒歩7分/

都営三田線「水道橋」駅(A6出口) 徒歩3分



* 本件に関するお問い合わせ先 * 東洋学園大学 広報室 (担当: 木村・清水)

電話 03-3811-1783 FAX 03-3811-5176 e-mail: koho@of.tyg.jp http://www.tyg.jp/

「おひとりさまのおカネと老後」 シンポジウム第2弾

団塊ジュニアのおカネと老後

日時 **11月5日(日)** 13:00~16:30 参加費：無料
2017年 (開場12:30) 定員：200名(当日会場に直接お越しください)

問題提起

クロストーク

上野千鶴子×雨宮処凜

(東京大学名誉教授)

(作家)

『世代の痛み

団塊ジュニアから団塊への質問状』

(上野千鶴子・雨宮処凜 共著、中公新書ラクレ/中央公論新社)



雨宮処凜

上野千鶴子

解決の糸口①

畔上秀人

東洋学園大学大学院
現代経営研究科 教授

論文 (2017年8月1日)
The Conversion Option in the Individual Life
Insurance (個人生命保険の転換契約について)

“妻の退職金”の
活かし方と世代間継承：
ファイナンシャル
プランニングの視点から

解決の糸口②

大垣尚司

移住・住み替え機構代表理事
立命館大学 法学部 教授

著書
49歳からのお金—住宅・保険をキャッシュに
換える (日本経済新聞出版社)

親の家って、“負動産”？

解決の糸口③

久保田裕之

日本大学 文理学部 准教授

著書
他人と暮らす若者たち (集英社新書)

ロスジェネ世代の
生き延び方：
シェアハウスから
グループリビングへ

全体討論

コーディネーター

本庄加代子 シンポジウム実行委員長

東洋学園大学 現代経営学部 准教授、
日本マーケティング学会 女性マーケティング研究会リーダー

まとめ

宣言

角田朋子 公認会計士

「おひとりさまと女性のためのおカネシリーズ」
プロジェクトリーダー

※各プログラム内容は変更の可能性があります

会場 東洋学園大学
1号館2F フェニクスホール
〒113-0033
東京都文京区本郷1-26-3

アクセス 東京メトロ「本郷三丁目」駅 徒歩4分/
JR「水道橋」駅(東口)徒歩7分/
都営三田線「水道橋」駅(A6出口)徒歩3分



主催 東洋学園大学大学院 現代経営研究科
「おひとりさまと女性のためのおカネ」
シンポジウム実行委員会

共催 認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク
WAN基金助成事業

後援 中央公論新社

シンポジウム「団塊ジュニアのおカネと老後」

取材申し込み FAX 状

前回の第1弾のシンポジウムでは満席でした。当日も混雑が予想されます。

報道関係者の皆さまは事前に取材お申し込みを頂けると幸いです。

■FAX 03-3811-5176 ■e-mail:koho@of.tyg.jp

シンポジウム「団塊ジュニアのおカネと老後」開催概要

【日時】2017年11月5日(日)13:00~16:30(開場 12:30) 【場所】東洋学園大学1号館2F フェニックスホール

【プログラム】

1. 開会あいさつ:横山和子(東洋学園大学大学院 現代経営研究科 研究科長・教授)
2. 問題提起:上野千鶴子×雨宮処凛 クロストーク『世代の痛み 団塊ジュニアから団塊への質問状』
3. 問題解決の糸口:
 - ① 「“妻の退職金”の活かし方と世代間継承:ファイナンシャルプランニングの視点から」
畔上秀人(東洋学園大学大学院現代経営研究科 教授)
 - ② 「親の家って、“負動産”？」大垣尚司(移住・住み替え機構代表理事、立命館大学 法学部 教授)
 - ③ 「ロスジェネ世代の生き延び方:シェアハウスからグループリビングへ」久保田裕之(日本大学 文理学部 准教授)
4. 全体討論:コーディネーター 本庄加代子 シンポジウム実行委員長
(東洋学園大学 現代経営学部 准教授 日本マーケティング学会 女性マーケティング研究会リーダー)
5. まとめ:宣言 角田朋子(公認会計士、「おひとりさまと女性のためのおカネシリーズ」プロジェクトリーダー)

【参加費】 無料 定員:200名(当日会場に直接お越しください)

【主催】 東洋学園大学大学院 現代経営研究科 / 「おひとりさまと女性のためのおカネ」シンポジウム実行委員会

【共催】:認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク WAN 基金助成事業(理事長:上野千鶴子) 【後援】:中央公論新社

御社名:

媒体名/番組名:

部署名:

代表者御芳名:

撮影:あり(ムービー / スチール) / なし

電話番号/携帯番号:

メールアドレス:

ご要望など:

* 本件に関するお問い合わせ先 * 東洋学園大学 広報室 (担当:木村・清水)

電話 03-3811-1783 FAX 03-3811-5176 e-mail:koho@of.tyg.jp http://www.tyg.jp/